

2022年5月13日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「T&D ベトナム株式ファンド」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「T&D ベトナム株式ファンド」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

ファンド名	2022年 5月12日 基準価額(円)	2022年 5月13日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T&D ベトナム株式ファンド	19,098	18,124	▲974	▲5.10

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2022年5月11日	2022年5月12日	騰落率 (%)
VN 指数	1,301.53	1,238.84	▲4.82

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、5月11日と5月12日を比較しています。

	2022年5月11日	2022年5月12日	騰落率 (%)
ベトナムドン(対円レート)	0.565	0.557	▲1.40

(ベトナムドンは小数点第4位四捨五入、騰落率は小数点第3位四捨五入)

上記についてはベトナム株式の値動きの基準価額への反映を参考に、5月11日と5月12日を比較しています。  
為替レートは100ベトナムドン当たり、単位は円です。

出所:ブルームバーグ

**◆足許の状況**

5月12日は、4月の米CPI(消費者物価指数)が市場予想を上回ったことへの警戒感や米アトランタ連銀総裁のさらなる大幅利上げを示唆する発言を手がかりに、金融引き締めが加速するとともに長期化するとの観測が広がったことなどから、前日に米国株式市場が下落したことを受けて、アジア株式市場が値を下げる中、ベトナム株式市場も大幅に下落しました。中国における新型コロナウイルス感染拡大防止策としてのロックダウンの実施が世界的な景気減速につながるなどの懸念もグローバル株式市場の重石となっています。また、ベトナムでは、証券取引等に関する法令に違反した個人や法人、情報に不備のある状態で起債を行った不動産会社などに対して当局が調査を行ったとの報道が相次いだことから、投資家心理が悪化した状態が続き、ベトナム株式市場では株価の下落が加速する展開となりました。

このような市況の下、ファンドの基準価額が前営業日比で大幅に下落しました。

**◆今後の見通し**

現時点でのベトナム株式市場の急落はファンダメンタルズの変化を反映したのではなく、短期的なリスク回避の動きによるものとみられ、個人や法人による証券取引等の違反事例への当局の関与は今後ベトナムの証券市場の改善につながると期待されることから、市場の過度なリスク回避姿勢が和らぐ局面ではベトナム株式市場が落ち着きを取り戻すとみています。ベトナムでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための社会隔離措置の解除や海外旅行者の入国後の隔離措置等の緩和が進められており、国内の経済活動のさらなる回復や海外渡航の再開が2022年のベトナムの経済成長を後押しすると見込んでいます。中長期的には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景にサプライチェーンの分散が重要視される中、ベトナムでは、中国に代わる魅力的な製造拠点の一つとして、海外から国内の輸出関連産業等へのFDI(海外直接投資)が牽引役となり、経済成長が見込まれます。また、経済成長とともに所得の伸びや中間所得層の拡大による消費需要の加速が期待され、ベトナム株式市場も安定的な成長軌道に乗っていくとみています。

以上

※ 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有していません。

当資料はT&Dアセットマネジメントが投資家の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

### 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

#### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

#### 投資信託に係る費用について

##### ◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 **4.40%(税込)**

信託財産留保額・・・上限 **解約金額・償還金額の 0.55% または1口(設定時1口1万円)あたり 250 円**

##### ◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 **年 1.98%(税込)**

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

#### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。